

第1回 余市町都市再生協議会 議事概要

開催日時： 令和4年11月9日（水）午後1時30分から
開催場所： 余市町役場 301・302会議室
出席者： 岸 邦宏（会長：北海道大学 公共政策大学院 教授）
小田 寛（副会長：余市商工会議所 副会頭）
内海 幸夫（北海道中央バス株式会社 余市営業所 所長）
彫谷 泰嗣（一般社団法人 余市観光協会 副会長）
北島 正樹（余市町PTA連合会 会長）
森田 尚洋（国土交通省 北海道開発局 小樽開発建設部 地域振興対策室長）
高木 弘章（北海道後志総合振興局 地域政策課長）
新開 孝一（北海道後志総合振興局 新幹線推進室長）
舟倉 勝巳（余市消防署 署長）
佐々木 隆行（余市警察署 地域課長）
川村 憲吾（一般公募）
千葉 一仁（一般公募）
欠席者： 横浜 博（小樽つばめ交通株式会社 余市支店 支店長）
小嶋 研一（一般社団法人 余市医師会 会長）
平田 進（余市町区会連合会 副連合会長）
棕平 剛史（北海道後志総合振興局 小樽建設管理部 地域調整課長）
オブザーバー： 遠藤 拓雄（国土交通省 北海道開発局 小樽開発建設部 道路計画課 上席専門官）
事務局： 千葉建設水道部長、阿部企画政策課長、まちづくり計画課本間主幹、松尾主幹、大隅主事、
オブザーバー(町)：企画政策課半田係長
農林水産課小林主幹
子育て健康推進課鈴木主幹
シン技術コンサル 加藤（委託事業先）

1. 開会 (事務局)

2. 余市町長挨拶 (町長は他の公務により欠席のため、渡辺副町長より挨拶)

3. 余市町都市再生協議会会長・副会長の互選 (会長選出)

臨時議長である渡辺副町長より、会長として岸邦宏氏（会長：北海道大学 公共政策大学院 教授）が指名され選出された。

(会長挨拶概要)

並行在来線廃止と、開通した後志自動車道の余市 IC 寄りに開発が進みそうな流れの中で、選択と

集中という形で効率的にまちを整備していく必要があり、難しいが余市町の将来にとってはとても重要なテーマである。公共交通については、いかにして将来も今JRを利用している観光客に来てもらうか、また自分たちの移動の足を確保するか。新たな仕組みをつくっていくチャンスでもある。

(副会長選出)

岸会長より、副会長として小田寛氏(副会長:余市商工会議所 副会頭)が指名され、選出された。

4. 審議事項

○ 都市計画マスタープランの変更・立地適正化計画の策定について

(事務局)

〈資料2について説明〉

(会長)

- ・ 国のコンパクト化の政策に留意し、協議、議論、合意形成を図りながら区域設定を行う必要があるが、居住誘導区域から外れた区域がその後住めなくなるということではない。
- ・ これから重点的に整備が必要なことを見極める立地適正化計画の策定と、都市計画マスタープランの見直しを並行して行うのがこの協議会のミッション。

(委員)

- ・ 人口減少の進行について、どう解釈をしているか?

(事務局)

- ・ 病院、大規模商店等、公共施設等を集約した中で利便性が図れるようコンパクト化を進めるとともに、他の福祉部門、子育て部門の施策と連携し少子化について取り組みたい。

(会長)

- ・ 拠点の設定について、都市計画マスタープランと立地適正化計画で整合性を図りながら、移住や子育て施設その他の施設の配置をまちづくりとしてどうしていくか議論する。
- ・ 鉄道がバス転換になった後の現在の駅周辺の活用を起点に、観光客と地域住民の利便を考慮し交通の拠点のあり方を検討していく。

(委員)

- ・ 見直しに当たっての根本となる問題をどう認識しているか?

(事務局)

- ・ 人口減少が加速度的に大きくなっていることを背景としつつ、高速道路の開通後の道の駅等の整備をはじめ、社会情勢の変化を捉えて都市計画を見直さなければならない。

○ 将来におけるまちづくりの検討課題の整理及び個別課題の整理

○ 将来目指すべく都市構造及びまちづくりの基本方針の意見聴取

(事務局)

〈資料3について説明〉

【交通】

(委員)

- ・ 生活の交通はもとより、観光客のための交通ネットワークという視点があってもいい。

- ・ 高速道路がさらに伸びると、余市に来る人が増える可能性あり。
- ・ 新幹線整備後、小樽・倶知安からいかに後志管内を周遊させるのかが今後大事になってくる。

【まちなかの渋滞】

(会長)

- ・ 町内の線路（踏切等）がなくなるとボトルネックがなくなり、町内の渋滞は解消が予想される場合、未整備都市計画道路で記載されている鉄道のオーバーパス、アンダーパス部の整備は見直しが必要となってくる。
- ・ 観光客の動線、余市から積丹やニセコ方面に行く動線を確保する必要性もあるが、地域の公共交通と両立できなければ、どちらかを優先する判断も必要。

(委員)

- ・ 倶知安－余市間の高規格道路供用でまちなかの渋滞が解消されるのか、積丹方面や南から来る交通で今後も渋滞が発生するのか、考え方の違いで議論が変わる

(事務局)

- ・ まちなか交差点の渋滞は国、道、町、警察、NEXCO の5者で協議をしている。現在は、信号処理による解消を目指している。

【人口】

(委員)

- ・ 将来推計人口は、人口ビジョンではなく社人研の推計が前提なのか？
- ・ 地区ごとの人口データをもとに人口減少の程度を考慮して議論する必要がある

(事務局)

- ・ 人口ビジョンの作成にあたり地区ごとの人口推計を行っている

【公共施設】

(委員)

- ・ 次世代を担う子供達が使えなくなった公共施設の多い環境で育つと、大人になったとき、町にあまりいい印象がなくなるのでは。
- ・ バス転換後、人口減による乗客数の減少とはならない可能性等も考慮すべき。

(会長)

- ・ 公共施設管理計画で整理されている耐用年数や、使われてない施設との照合と、将来どの施設がどこに必要なかを議論した結果が、都市機能誘導区域の設定や、都市計画マスタープランの見直しに反映されていく。

5. その他

(事務局)

次回は12月9日の予定。

6. 閉会（午後2時32分）